

# 大通り商店街 (三島大通り商店街)

静岡県三島市

インバウンド

地域協働

新陳代謝

生産性向上

ポイント

積極的な情報発信により、空き店舗が減少。  
街路灯の花飾りや飾り袖看板の整備などで新しいまちづくりを推進。

## 基本データ

所在地	静岡県三島市本町・中央町
人口	約 11 万人 (三島市)
電話/FAX	055-976-0038 / 055-976-0053
URL	http://www.via701.net/index.html
会員数	118 名
店舗数	119 店舗 (小売業 73 店、飲食業 26 店、サービス業 14 店、金融業 1 店、医療サービス業 1 店、その他 4 店)
商店街の類型	エリア価値向上型
主な客層	主婦、高齢者 /60 歳代、50 歳代

## 商店街概要

三島市は東海道の宿場町として、三嶋大社を中心に宿屋や商店が軒を連ね発展してきた。中でも東海道筋の大通り商店街は、三嶋大社から三島広小路駅を結ぶ大通りに面する 3 つの商店会で組織され、現在も 100 を超える商店が集積している。地域住民が利用する日用品店から観光客も利用する飲食・物販店まで多様な店舗があり、地域商業の中心となっている。近年は外国人観光客が増加するなかでクレジット決済端末の導入や多言語マップの作成など、将来に向けた環境づくりを推進しているほか、年間を通してイベントを多数開催。イベント開催日だけでも年間 10 万人近くが来街し、大きな賑わいを創出している。

## 取組の背景

### 4 つの基本方針に則って

大通り商店街は三島市が策定した「三島市商工業戦略アクションプラン」(平成 27 年 8 月策定)の策定作業に参画し、商業分野の方針決定に深く関わった。プランの策定のために市が行った調査では、外国人を含めた観光客の割合が高くなってきたこと、その一方で地域住民(特に若い世代や子育て世代)の商店街離れが進行していることなどの課題が明らかになった。

この結果を受け、平成 27 年に商店街は市とともに「『みしまぐらし』の品格を高め、伝える店づくり」を目標に掲げた。基本方針には、①個店の活力を高める基盤の強化、②差別化マーケティングの推進、③ガーデンシティみしまを象徴する商店街づくり、④観光交流を拓げる“おもてなし”商業の推進、の 4 つがある。

## 取組の内容

### 空き店舗対策などの新しいまちづくりを開始

基本方針の①に対応する取組として、空き店舗対策を強化し、空き店舗の最新情報を常に発信するとともに、市や商工会議所の支援を積極的に PR し出店者を呼び込んでいる。

取組の結果、平成 28 年度は 4 件、平成 29 年度は 1 件が新規出店を果たし、平成 29 年末時点で空

き店舗は 4 件と近隣他地区に比べ少ない水準となっている。

②については商店街独自の発案で「ゆでらっかせいプロジェクト」を実施。ゆで落花生は殻を破らず中身を柔らかくすることにちなみ、布団屋できのこを売る等、本業を核に柔軟な発想で顧客の求める商品を販売する企画である。



「ゆでらっかせいプロジェクト」(布団屋できのこを売っている)

③では、市が推進する「ガーデンシティみしま」事業に賛同し、街路灯の花飾り整備に協力。「ガーデンシティみしま」のシンボルとして定着している。

また、各店の魅力アップや統一された景観づくりのほか、商店街に若い感性を取り入れ、若者のまちづくりへの参加意識の向上などを狙った「飾り袖看板」事業により、高校生がデザインした袖看板を 37 店舗に設置した。

これらの取組が高く評価され、平成 29 年 11 月には「県景観賞・最優秀(県知事)賞」を受賞した。



街を彩る花飾り



高校生がデザインした袖看板

④に対応する取組としては、三島商工会議所と連携して推進する「ひやかし歓迎商店街」がある。「買物しなくても、気軽にお店に来てね」を基本理念に、来街者がいつでも気持ち良く店舗に立ち寄れるようにするための取組である。

小学生を対象にしたひやかし歓迎登録店を巡るツアーは平成24年から開始し、定員を超える参加者が集まるなど好評である。

現在はこの発展型として、商店で仕事の体験をしてもらう「なりわい体験塾」を毎年夏に開催している。

この他、三島の一大観光地となった日本一の吊橋「スカイウォーク」（平成27年開業、年間120万人来場）に商店街の店主がダジャレを交えて紹介した「おもしろポスター」を展示することで、観光客の取り込みも積極的に行っている。

## 取組の成果

### 歩行者数が維持され市外や県外からの新規出店者が増加

空き店舗対策は賑わいある商店街づくりに直結しており、空き店舗は4店舗（平成30年2月現在）まで減少している。空き店舗の減少は景観形成にも大きく影響し、来街者からの評価も高い。ただ、各

店は後継者不足等の問題を抱えており、今後は三島商工会議所や静岡県事業引継ぎ支援センター等との連携強化も求められている。

商店街独自の発案で始めた「ゆでっかせいプロジェクト」では「普段買えないものや珍しい商品がある」などの期待が来街の機会を作り、来街者との話題づくりにもなっている。店主自らが展示会等で新品を発掘し、大型店とは差別化された商品販売を継続していく。

「訪れたい商店街」を目指し整備してきたガーデンシティみしまや飾り袖看板をはじめ、平成27年に設置した防犯カメラは安全なまちづくりに貢献したとして三島警察署から表彰を受けるなど、ハード整備は着実に進んでいる。

こうした一つ一つの事業が実を結び、5年前から毎年調査している歩行者数は維持しており、市外や県外からの新規出店者が増加している。

## 実施体制

大通り商店街は3つの商店会によって組織されている。イベントなどの取組は、3商店会の若手等で組織される「大通り商店街まつり実行委員会」で詳細まで協議し開催している。

また、商店会員は、地元町内会の活動をはじめ、各種団体の役員などに参画して広範囲のコミュニティを形成している。事業の運営に関しては三島市と三島商工会議所、みしま街づくり株式会社（第三セクター）が協議会などに参加し意見交換するなどの支援体制を確立している。

各イベントは市の補助を有効に活用しているほか、他地区からの出店者や大手企業のPRブースを受け入れることで出店料を集め、自己負担金を軽減できるよう努めている。ハード整備には、国・県・市の補助を商工会議所と連携して活用している。

## キーパーソンからのコメント



本町小中島商栄会  
（三島大通り商店街内）  
会長 佐野 正典

### 周りのバックアップがあつてこそ

空き店舗対策やガーデンシティみしま、飾り袖看板事業など、事業の多くは三島市や三島商工会議所などのバックアップがあつたからこそ取り組んでいるものです。私たち商店街でできることは限られていますが、三島大通り商店街を気にかけてくださる人が多くいたことで、今日の三島大通り商店街ができてきたと思っています。これからもご支援ご協力頂ける方と連携し、魅力ある商店街を目指していきたいです。

### より魅力ある商店街を目指し活躍する若い世代

三島市と連携したガーデンシティみしま事業では街路灯にフラワーポットを掲げ、700mある大通りに切れ間なく花を飾っており、お客様から「きれい」「癒される」など多数の嬉しい声が届いています。こうした環境整備の結果、若い世代が各種イベントを積極的に行ってくれるようになりました。今後も若い世代が活躍でき、来街する皆様にとって安心安全で魅力あふれる商店街でありたいです。